

第 1 1 号様式 (第 31 条関係)

り 災 申 告 書					
1	年 月 日				
	<p style="text-align: center;">京都中部広域消防組合 消防署長 宛て</p> <p style="text-align: center;">現住所</p> <p style="text-align: right;">電話</p> <p style="text-align: center;">申告者 職業</p> <p style="text-align: center;">氏 名</p> <p style="text-align: center;">生年月日 年 月 日生</p> <p style="text-align: center;">年 月 日 時 分ごろ</p> <p style="text-align: center;">において発生した火災によって、り災したので申告しま す。</p>				
2	り災物件の所在地				
3	り災物件と申告者の関係		占有者・管理者・所有者		
4	建築・購入年月		建築又は購入金額		
	(推定・記録・記憶)		(推定・記録・記憶・不明)		
	年 月		3.3 m ² 当たりの金額	総 金 額	
5	取得後の経過				
	修繕・改築	年月	修繕・改築した箇所		要した金額
		年月			
	増築	年月	増築の概要	増築面積	要した金額
		年月		(m ²)	
6	り災前の建物詳細				
	建築用途	屋 根	外 壁	階 数	延べ面積
					(m ²)
	居住世帯数		居住人員		

7	建物・収容物以外のり災状況							
	り災物件名		り災の別		数量又は面積		経過年数	
			焼・消・他					
			焼・消・他					
			焼・消・他					
			焼・消・他					
			焼・消・他					
8	火 災 保 険							
	被保険物件				契約会社名		契約年月日・契約金額	
9	世 帯 員（同居者等を含む。）							
	氏 名	続柄	生年月日	性別	氏 名	続柄	生年月日	性別
<p>この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。</p> <p style="text-align: center;">記 載 要 領</p> <p>(1の欄) 印のところに押印して下さい。</p> <p>(3の欄) り災物件と申告者との関係の欄は、あてはまるものを○で囲んで下さい。</p> <p>(4の欄) 1 各欄の記入にあたって、それが推定によるものか、記憶に基づくものか、あるいは帳簿の契約書などの記録によって明らかなものか、あてはまるものを○で囲んで下さい。</p> <p style="padding-left: 2em;">2 総金額とは、り災した建物の総計金額のことです。</p> <p>(5の欄) 建物を取得してからり災するまでの間に修繕又は改築箇所を具体的に書いて下さい。</p> <p>(6の欄) 建物用途の欄は、住宅、店舗、倉庫、物置、作業場又は工場のように使用している用途を記入して下さい。</p> <p>(7の欄) 1 り災物件名の欄は、塀の類、庭木の類、看板などり災したものを記入して下さい。</p> <p style="padding-left: 2em;">2 り災の別の欄は、あてはまるものを○で囲んで下さい。なお焼、消、他の意味は次のとおりです。</p> <p style="padding-left: 4em;">(1) 焼 燃えたもの、熱で侵されたもの</p> <p style="padding-left: 4em;">(2) 消 消火するために壊れたもの、濡れたもの、汚れたもの</p> <p style="padding-left: 4em;">(3) 他 煙で汚れたもの、運びだすとき落して壊れたもの</p>								

